

とくしまの学校における働き方改革プラン（第2期）概要版（案）

新型コロナの感染拡大やデジタル社会の本格到来、「学級編成の標準」の計画的引き下げなど新しい時代の流れを捉えるとともに、第1期プランの成果と課題を踏まえ、学校の働き方改革を更に推進するため、プランの改定を行い、取組内容の進化・拡充を図ります。

目 的

業務の適正化と質的転換による教育力の向上と持続可能な学校づくり

目 標

令和5年度までに、1か月当たりの時間外在校等時間（平均）を
令和2年度比「**25%以上**」削減（各校種において）

期 間

令和3年度から令和5年度までの3年間

プランの体系

全ての取組を強力に推進するため、常に念頭に置くべき
3つの共通の留意事項を掲げ、その下に**4つの取組の柱**を設定します。

共通の留意事項

①法改正を踏まえた改革の推進

学校における働き方改革を推進するに当たり、給特法上の指針（時間外在校等時間の上限：月45時間・年360時間）等を踏まえた取組の実施により、プランを推進する。



②GIGAスクール構想の実装（デジタル化）を通じた改革の推進

児童生徒1人1台端末、Web会議システム、電子黒板、デジタル教材など学校教育を支える基盤的なツールとしてICTを積極的に活用し、業務の効率化を推進する。



③保護者・地域への理解促進

「ふれあいひろば」等の広報紙や「働き方改革ホームページ」、「教育ふれあい懇談会」等において取組を発信することにより、保護者や地域の方々への理解を促進する。



取組の柱 1

タイムマネジメントの徹底

- 新 出退勤管理システムの活用による徹底したタイムマネジメントの推進
- 新 休日のまとめ取りのための1年単位の変形労働時間制の周知
- 新 年次有給休暇の取得促進
- 管理職対象の働き方改革に係る研修の充実



全ての公立小中学校に導入する出退勤管理システム

取組の柱 2

業務改善の更なる推進

- 新 徳島県GIGAスクール構想の実装による授業形態や手法の進化及び事務処理の効率化
- 新 県下統一した学校業務支援システムによる業務改善の推進
- 更なる研修の進化（Web会議の積極的活用等）



児童生徒1人1台端末やデジタル教材等を活用した教材研究の効率化

取組の柱 3

外部人材の積極的活用

- スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員、「学びサポーター」等の配置促進
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクールロイヤーによる教育相談体制の充実
- 新 コミュニティ・スクール、地域学校協働本部の導入促進

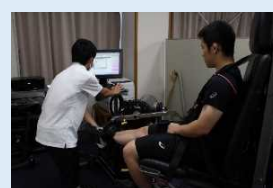


学習指導員「学びサポーター」の配置

取組の柱 4

部活動の適正化

- 「部活動の在り方に関する方針」を踏まえた活動時間や休養日の取組徹底
- 新 国の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」への対応
- 合理的で効率的・効果的な活動のための科学的トレーニングの導入促進



科学的トレーニングの導入

県教育委員会・市町村教育委員会・学校の3つの主体により取組を推進します。